

## 平成30年度 『地域のつどい』 第1回 白幡地区

○開催日:平成31年2月15日(金)18:30～ ○会場:白幡地区センター ○参加:22名

第20期神奈川区民協議会「地域のつどい」白幡地区が行われました。

白幡地区は、東横線白楽駅からほど近い地域で、地区の西側に隣接して白楽駅、東白楽駅があり、地区の道路は狭いところが多く、自動車が通れないところも多くあります。地区の大半は災害時の重点対策地域(大規模地震時の火災による被害が特に大きいと想定される地域)に指定されています。近隣に複数の大学・専門学校等があることや駅までの利便性から従来の一戸建て住民に加え、アパート、マンションの住民も増え、自治会町内会に入らない住民も増えてきているようです。また、空き家も増えはじめ、様々な問題が出始めているようです。さらに、高齢者の比率、特に単身の高齢者の比率も高く、駅から近いものの、急な坂道も多く、高齢に伴う足腰の不自由なお年寄りにとって買い物、通院等の利便性に課題があるほか、災害時に備えての対応も平地、丘陵地それぞれ工夫が必要なようです。

当日、皆さまからいただいたご意見は主に次のようなものでした。

- ごみ出しのマナー

学生、単身者、外国人など自治会町内会未加入者

通学・通勤途中にあるごみ捨て場の環境を改善したい

- 地域の身近な場所での交通手段の問題

白楽の駅までは坂が多く、高齢者には歩行が困難な場合もあり、地域内の市営バスの本数が少なく、小型なので通院の際に利用しにくい点、増便できないか

- 自治会町内会館の地代等現在の補助金の対象外になっているものについての対応や建物の老朽化による建て替えに良い知恵はないか

- 空き家をめぐる樹木の倒壊等、場合によっては危険が想定されることへの対応

- 街灯の設置場所が無い等私有地であるため行政が関わりにくい点をどう考えたら良いか

- 自治会町内会役員の高齢化に伴う後継者探しの問題



これら地域の困りごとをめぐり、地域の皆さまの率直なお気持ちを伺い、区民協議会委員からは他地域の取り組み事例の紹介がなされ、課題によっては関連機関・団体等につなぐ等、自ら地域のことを考えていく活発な意見交換が行われました。

ご参加いただいた皆さま大変ありがとうございました。